

100歳おめでとうございます

7月に満100歳を迎えた人に、市長からの祝いメッセージと祝金が贈られました。



坂本 友江さん
大正2年7月20日生

ちびっこ力士大活躍 ワンパクすもう大会

8月4日、ヴィーブルで市商工会主催の第24回ワンパクすもう大会が開催され、市内の園児と小学生342人が参加し、熱戦が繰り広げられました。

各部門の優勝者

幼稚園・保育園

- 年少の部 渡邊 陽太（尚綱幼稚園）
- 年中の部 木村 暁大（合志中部保育園）
- 年長の部 田中 悠斗（こうしおんがく保育園）

小学生

- 1年生の部 可徳 雅仁（合志小）
- 2年生の部 後藤 悠馬（西合志東小）
- 3年生の部 永井 来喜（西合志第一小）
- 4年生の部 中村 晟琉（南ヶ丘小）
- 5年生の部 吉永 恵二郎（合志南小）
- 5・6年生女子の部 詫田 美沙希（西合志第一小）
- 6年生の部 長野 良明（西合志南小）



真剣なまなざし

給食を身近に感じて 給食センター見学会

7月23日、学校給食センターで見学会を行ない、配送校の子どもたちや保護者など約170人が参加しました。給食センターでは、合志南小・南ヶ丘小・合志小・合志中学校の給食約2,700人分を作っています。

参加者は、実際に使っている機械や器具に触れ、感触や重さを体感しました。子どもたちは「釜やお玉、ひしゃくなど全てが大きくてびっくりした」「これからは残さずに食べよう」と話していました。



大きくて重たいよ

宝くじ助成事業で 笹原自治会が備品を購入

コミュニティの健全な発展を図ることを目的としたコミュニティ助成事業により、コミュニティ活動に使用するカラオケプレーヤーやスピーカーなどの備品が整備されました。

この、コミュニティ助成事業は、宝くじ普及広報事業費を財源として財団法人自治総合センターが助成決定を行なうものです。今後の笹原自治会のますますの活性化が期待されます。



購入したカラオケプレーヤー・スピーカー

敵は我なり 今の我なり Vリーグ坂梨選手講演会

7月19日、西合志中学校体育館で、Vリーグ大阪堺ブレイザーズ所属の坂梨朋彦選手が、「敵は我なり今の我なり」の演題で講演を行ないました。

坂梨選手は、小学生のときにバレーボールを始め、平成15年3月に同校を卒業、高校、大学と実績をあげ、現在、リベロとして活躍し、昨年末のトップリーグでは優勝しました。講演では「夢は逃げない 逃げるのはいつも自分だ」と生徒たちへエールを送りました。

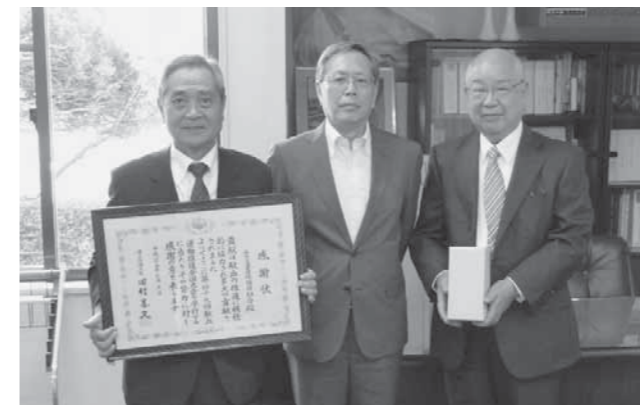


坂梨選手の今後の活躍を応援します

合志工業団地協同組合 厚生労働大臣表彰を授与

合志工業団地協同組合は、平成6年から19年間にわたり組織的に献血に協力しており、年2回採血車を受け入れています。また、献血の重要性・必要性を確認しあい、組合員に積極的に呼びかけて献血に協力してきました。その功績が認められ、7月22日、厚生労働大臣からの感謝状が贈呈されました。

また、合志ライオンズクラブも献血功労団体表彰として熊本県支部長感謝状が贈呈されました。



左から合志工業団地協同組合 松本繁理事長、熊本県業務衛生課 今村均課長、合志工業団地協同組合 坂本昇事務局長

アジア選手権 400m障害で準優勝

7月3～7日、インドのプネーで開催された第20回アジア陸上競技選手権大会で、女子400m障害の日本代表として出場した吉良愛美選手（西合志南中出身・中央大学）が57秒78のタイムで見事銀メダルに輝きました。また、1600mリレーにも出場し、3位入賞しました。

8月9日、吉良選手は市役所を訪れ、市長にメダル獲得の報告を行ない、今後の活躍を誓いました。



銀メダル、銅メダルを胸に掲げる吉良選手

被災地へ届け 園児の思い 豪雨災害募金活動

7月12日、竹迫みのり保育園でチャリティバザーが行なわれました。これは、昨年の九州北部豪雨災害を風化させないようにと保護会が企画したもので、園児たちは被災地の写真を見るなど事前学習を行ない、募金活動をしました。

集まった募金や収益金は、7月16日に阿蘇市役所へ園児が直接届けました。阿蘇市長は「1日でも早く復興できるよう大切に使います」と園児に伝えました。



早く元気になってください